

「令和元年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（第2回）」
議事概要

I 日 時

令和元年10月3日（木）10：00～12：30

II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構6階 会議室1～3

III 出席委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

和田 義博（公認会計士）

伊藤 憲二（森・濱田松本法律事務所 弁護士）

◎寺林 努（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

○矢野 奈保子（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事（非常勤））

※ ◎は委員長、○は委員長代理

IV 議 題

（1）審議事項案件

① 令和元年4月から6月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について

I：随意契約等における価格交渉状況

II：一者応札・応募となった案件の次回改善策

III：低落札率案件の予定価格設定等

（2）その他

V 議事内容

令和元年4月から6月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について

- I：随意契約等における価格交渉状況
- II：一者応札・応募となった案件の次回改善策
- III：低落札率案件の予定価格設定等

標記について審議及び報告が行われた。主な概要は以下の通り。

委員からの主な質問・意見及び当機構の回答	
質問・意見	回答
① 一者応札を避けるため、公募だけではなく他の手法も含めて検討し、工夫をすること。 ② 保守等の契約期間延長について、随意契約になることはある程度やむを得ないが、延長期間等について精査すること。 ③ 総括表については、数字の比較検討がし易いよう、分かりやすい記載にすること。また、価格交渉と仕様書のスペックダウンは明らかに中身が異なるため分けて書くこと。 ④ 仕様書を作成する際には、新規事業者からのアイデアを取り入れるなどして、競争原理が働くようにすること。 ⑤ 説明会の開催方法について工夫を検討すること。 ⑥ 予定価格の設定手順について、文書化等を今後検討していくこと。	ご意見のとおり、努めてまいりたい。

(2) その他

令和元年10月～12月調達予定案件一覧表（最低価格落札方式）についての報告が行われた。

以上